

2017-B

VI41B

拠出金・基金  
の名称

国際農業研究協議グループ拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局地球規模課題総括課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

CGIARは世界各地に地域の農林水産業の特性に根ざした国際農林水産研究を実施する15の研究センターを有し、それぞれ独立した機関として活動。具体的には、気候変動や生物多様性、防災、ジェンダー主流化等の横断的政策課題を重視しつつ、農作物の品種の遺伝資源を保存・評価し、各国の気候や貧困層の栄養等の観点から適正な品種を開発し、各国に提供するほか、病虫害対策、農地の保全など天然資源の管理や保全、政策形成のためのデータ分析提供、開発途上国の専門家養成の研修を実施。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	214,044	1,946		1米ドル=110円	100
平成28年度	196,176	1,635		1米ドル=120円	100
平成27年度	394,176	4,336		1米ドル= 110円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

CGIARは、地球規模で、開発途上国の経済発展・福祉向上のための国際農業(林業・水産業含む)研究を実施しており、例えばより生産性の高いコメや小麦の研究開発や遺伝資源の保存・活用等、我が国政策の関心事項に沿った研究開発を推進する上でも重要なパートナー。また、日々深刻化する世界の食料問題に対し、我が国の強みである国際農業研究の技術革新を通じて対応する唯一の国際専門機関であり、事業実施に際しても、同機関を通じた我が国機関(JICA、民間セクター等)との連携も進展。そのほか、我が国若手研究者の参画を図るため、我が国大学や我が国研究機関(JIRCAS等)との連携も実施しており、近年十分な事業成果を上げている。

【備考】